

黒沢地区 地区別計画書

- ◇地区別計画のキャッチフレーズ 世代を越えて伝統と自然を守りゆく黒沢
- ◇地区の将来像 世代間交流が活発で、助け合いながら、自然豊かで住みよい黒沢
- ◇地区の宝物 地区の中心を流れる萩生川とそれが注ぐ白川。田園環境。
- ◇次代に残したいもの 各地区に残る伝統の獅子舞。

■ 地区の現状と課題：

- 人口・戸数が減少し、高齢者世帯も増加したことにより、集落活動が沈滞化しているほか、近所のつながりも弱くなってきている。
- 農業後継者が減少しており、豊かな田園環境が維持できなくなってきている。
- 通年通水されていないことによる防火用水など地域環境用水の不足と、大雨による水害発生が懸念される。
- 整備中である萩生川の周辺環境の保全を継続していく必要がある。
- 子どもが安全に遊べる公園が欲しい。

■ 10年後の将来ビジョン：

- 子どもからお年寄りまで、各世代間の交流が活発で、獅子舞などの伝統文化を継承していくことにより、地域内のつながりが強まり、高齢者世帯の除雪や河川環境整備作業、地域内でのおまつり等、集落活動が活発化している。
- 家庭からの雑排水の処理が充分になされ、きれいな水の流れが再現され、魚やホタルが住める環境が整っている。
- 里山環境を保全することにより、人が足を運び自然に触れ合うことができる憩いの場となっている。

■ 将来に向けた重点事業

行政主体の事業	地域主体の事業
<ul style="list-style-type: none"> ○萩生川の河川改修 ○地域環境用水の確保と、水害を防ぐ水路整備 ○黒沢地区にあった家庭排水処理法の検討と整備の推進 ○公園の新設 	<ul style="list-style-type: none"> ○世代間交流の実施 ○助け合いによる住みよい地域づくり ○伝統行事の継承 ○萩生川の河川環境保全 ○桜の里づくり ○里山保全活動 ○自然エネルギーの利活用

□ 5年間のうちに取り組むアクションプラン

	地区が主体となることができる活動 テーマ・内容	実施 時期	地区での 主体づくり	いつまでに何を する
取り組んでいくアクションプラン	<p>『世代間交流の実施』</p> <p>昔の遊びを再現するなど、子どもからお年寄りまでのふれあいづくりを推進する。</p>	平成24年度	育成会など	<p>第1段階</p> <p>①黒沢地区内の各育成会への呼びかけと組織づくり。</p> <p>②伝えていきたい昔の遊びや食べ物について、アンケートや聞き取り調査を行う。</p> <p>③伝授できる人を検討する。</p> <p>第2段階</p> <p>④どういう遊びを教えるか検討する。</p> <p>⑤交流会と餅つき大会の企画と実施。</p> <p>⑥反省会等により継続の是非を検討。</p>
	<p>『助け合いによる 住みよい地域づくり』</p> <p>高齢者宅の除雪など、冬でも住みよい地域づくりを図る。</p>	平成24年度	黒沢内の各地区及び地域住民によるボランティア組織	<p>第1段階</p> <p>①各地区ごとに話し合いの場を設ける。</p> <p>②聴き取り等により、お年寄りごとのニーズを把握。</p> <p>第2段階</p> <p>③ボランティア組織の立ち上げ。</p> <p>④除雪ボランティアの実施。</p> <p>⑤合同反省会の実施。</p>
	<p>『伝統行事の継承』</p> <p>黒沢内に数多くある獅子舞文化を伝承することにより、次の世代へ継続していく。</p>	平成25年度	各神社氏子連中及び地区協議会	<p>第1段階</p> <p>①各神社の現状調査。</p> <p>第2段階</p> <p>②獅子舞の共演イベントの実施。</p> <p>③各神社への参加による相互交流。</p> <p>④子ども向けのおまつり勉強会の実施。</p> <p>⑤一同に会した交流会の実施。</p>
	<p>『萩生川の河川環境保全』</p> <p>地区住民総出による河川環境の保全活動に取り組み、自然と触れ合える場をつくる。</p>	平成24年度	地区協議会	<p>第1段階</p> <p>①水質の調査。</p> <p>②作業内容の検討と割り振り。</p> <p>第2段階</p> <p>③草刈り等、保全作業の実施。</p> <p>④継続していくための方策を検討。</p>
	<p>『桜の里づくり』</p> <p>公園や河川沿いに桜を植栽し、憩いの場をつくる。</p>	平成23年度	地区協議会	<p>第1段階</p> <p>①植栽箇所のリストアップ。</p> <p>②いつ、何本ずつ植えるかについて計画。</p> <p>③苗木の種類の見直しと調達。</p> <p>第2段階</p> <p>④地域住民への周知と参加啓発。</p> <p>⑤植栽事業の実施。</p> <p>⑥植栽後の反省会実施による管理継続についての検討。</p>

地区が主体となることができる活動 テーマ・内容		実施 時期	地区での 主体づくり	いつまでに何をする
取り組んでいくアクションプラン	<p>『里山保全活動』</p> <p>人が足を運び、自然に触れ合える憩いの場として、西山の保全活動を推進する。</p>	平成26年度	地区協議会	<p>第1段階</p> <p>①西山の現状把握と保全作業内容の検討。</p> <p>②調達資材の検討と準備。</p> <p>第2段階</p> <p>③黒沢内の各地区に協力を要請。</p> <p>④保全活動の実施。</p> <p>⑤山菜講習会の実施。</p> <p>⑥次のステップにつなげるための反省会を実施。</p>
	<p>『自然エネルギーの利活用』</p> <p>地域内の水路整備に併せて水力発電装置を設置し、公園照明等に利用する。</p>	平成27年度	地区協議会	<p>第1段階</p> <p>①設置場所の検討。</p> <p>②発電方法の検討。</p> <p>第2段階</p> <p>③発電装置と設置用資材の購入。</p> <p>④発電装置の設置。</p> <p>⑤反省会（夜桜見物）の実施により、次のステップへ向け検討。</p>